

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【公開番号】特開2015-97645(P2015-97645A)

【公開日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2015-035

【出願番号】特願2013-238976(P2013-238976)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月24日(2015.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

当りか否かの当り抽選を行う当り抽選手段を備え、当該当り抽選手段の抽選結果が当選の場合、特別入賞領域への遊技球の入球を許容する当り遊技を付与する遊技機において、前記特別入賞領域への遊技球の入球を検知する入球検知手段と、

前記特別入賞領域内に配置される特典入賞手段への遊技球の入球を検知する特典入賞検知手段と、

前記特別入賞領域から排出される遊技球を検知する排出検知手段と、

前記入球検知手段が遊技球を検知したときに、前記特別入賞領域内に存在する遊技球の数を示す領域内個数を加算し、前記排出検知手段が遊技球を検知したときに、前記領域内個数を減算することにより、前記領域内個数を計測する計測手段と、

前記特典入賞検知手段が遊技球を検知したことを契機に、遊技者に有利な特別遊技状態を付与することができる特別遊技状態付与手段と、

遊技機への電源供給が中断される場合に、制御に関する情報を記憶する電源断時記憶手段と、を備え、

前記電源断時記憶手段は、制御に関する情報として少なくとも領域内個数を記憶するように構成されており、

前記計測手段は、

前記特別入賞領域への遊技球の入球が許容された後から、前記特別入賞領域への遊技球の入球が許容されなくなつて予め決められた作動時間が経過するまでの間に、前記入球検知手段が遊技球を検知した場合に、前記領域内個数を加算する一方、

前記領域内個数が存在するときに、前記排出検知手段が遊技球を検知した場合には、前記領域内個数を減算し、

遊技機への電源供給が中断された後、電源供給が再開された場合、前記電源断時記憶手段に記憶されている領域内個数を読み出し、読み出した領域内個数に基づき、領域内個数の計測を再開することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

ところで、従来から遊技球を磁力で移動させたり、また、遊技球に係をつないで操作したりする不正行為が存在していた。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 6 】

上記問題点を解決する遊技機は、当りか否かの当り抽選を行う当り抽選手段を備え、当該当り抽選手段の抽選結果が当選の場合、特別入賞領域への遊技球の入球を許容する当り遊技を付与する遊技機において、前記特別入賞領域への遊技球の入球を検知する入球検知手段と、前記特別入賞領域内に配置される特典入賞手段への遊技球の入球を検知する特典入賞検知手段と、前記特別入賞領域から排出される遊技球を検知する排出検知手段と、前記入球検知手段が遊技球を検知したときに、前記特別入賞領域内に存在する遊技球の数を示す領域内個数を加算し、前記排出検知手段が遊技球を検知したときに、前記領域内個数を減算することにより、前記領域内個数を計測する計測手段と、前記特典入賞検知手段が遊技球を検知したことを契機に、遊技者に有利な特別遊技状態を付与することができる特別遊技状態付与手段と、遊技機への電源供給が中断される場合に、制御に関する情報を記憶する電源断時記憶手段と、を備え、前記電源断時記憶手段は、制御に関する情報として少なくとも領域内個数を記憶するように構成されており、前記計測手段は、前記特別入賞領域への遊技球の入球が許容された後から、前記特別入賞領域への遊技球の入球が許容されなくなつて予め決められた作動時間が経過するまでの間に、前記入球検知手段が遊技球を検知した場合に、前記領域内個数を加算する一方、前記領域内個数が存在するときに、前記排出検知手段が遊技球を検知した場合には、前記領域内個数を減算し、遊技機への電源供給が中断された後、電源供給が再開された場合、前記電源断時記憶手段に記憶されている領域内個数を読み出し、読み出した領域内個数に基づき、領域内個数の計測を再開することを要旨とする。